

その耳、

でひらけるか。

「銀河ノコモリウタ」

∞ Spring 2022 On Sale ∞

音という、ことば。
ことばという、音。

詩人、音楽家、美術家のみなさんと作る、
おとなとこどものための未来への"音のアートブック"
「銀河ノコモリウタ」制作プロジェクト。
ご支援をよろしく申し上げます!!

2021年9月30日
クラウドファンディング
start!!



支援くださったみなさまへのリターンとして、
この限定盤2枚組サウンド&アートブック「銀河ノコモリウタ」、
美術家安野谷昌穂さんデザインの「ひらく」ステッカー、ポストカード、
「ひらく?」キャンバーストートバッグなどのオリジナルグッズ、
ブックにさらに直筆ドローイングを描いてもらって世界にひとつだけのブックにしたり
「声の銀河」レコーディングと一緒に参加してアルバムにお名前をクレジットなど
クラウドファンディングのみのさまざまな特典があります。
ぜひサイトをご覧ください。
クラウドファンディングの終了は11/28です。
数量限定ですのでお早目に!

DISC1「うたとことば」

この森をぬけて
七ツ星のそのひとつ「鶯宿はこの月の夜を雪ふるらし」
空のコラール
ディアラヂット、星のシグナル
Ni movigas antaue
イラッサ・オレイヨ(森と人と精霊のまつり)ほか

DISC2「ことばとおと」

注文の多い料理店 序(kono-mori-wo-nukete)
どんぐりと山猫
狼森と笹森、盗森
「声の銀河」ひとつとひとつがたぐ声の星座
詩人管啓次郎/詩と朗読

歌・朗読 kawole/ギター IsaGuitarra
/パーカッション 渡辺亮/チェロ 竹中裕深 ほか
詩と朗読 管啓次郎
「声の銀河」

管啓次郎/柴田元幸/小島ケイタニーラブ/辺口芳典ほか
総合美術 安野谷昌穂



kawole (カオル) 歌手

歌い継がれるもの、語り継がれるものをテーマに活動。
ギジェルモ・リソット、ドウオ・エルバルコンなど数々のアルゼンチン音楽家と共演「顔なき声」をテーマに日本、特に生まれ故郷である奈良の民俗歌謡に取り組む。国内では唯一の南米の打楽器カント・コン・カーハ(カーハと歌う歌)の歌い手。宮沢賢治音楽朗読会主宰。このプロジェクトを立ち上げました。

IsaGuitarra(イサ・ギターラ) ギタリスト

作編曲及び録音、音響表現に取り組みながら、国内各地での演奏活動を行う。現在までにソロ6作品、他にタブラやバンスリー、尺八奏者とのバンドSANDHYAにて2作品をリリース。楽曲提供として茂木綾子氏の映像へ提供。担当するラジオ番組は花鳥風月と音楽、季節と天体などがテーマ。



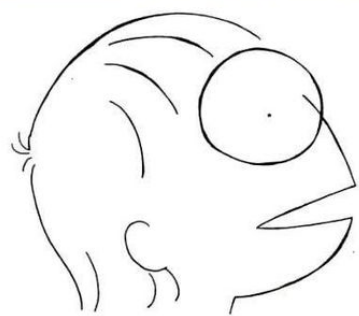
渡辺亮 パーカッション

武蔵野美術大学卒業。在学中よりブラジルのパーカッション創作楽器を中心に音楽活動を開始。東京学芸大学非常勤講師。ソロアルバムに「ウオレス・ライン」「モルフォ」、著書に「レッツ・プレイ・サンバ」(音楽之友社)がある。自己の活動として、美術と音楽が共存できるプログラム「音と妖怪」「美術と音楽」を主催している。



安野谷昌穂 美術家

日本を拠点に国内外での個展開催やグループ展に参加するなど精力的に活動中。「COMME des GARÇONS」「ZUCCA」などとのコラボレーションワークを数多く発表。16年にはシンガポールのデザイナー、テセウス・チャンとドイツのSTEIDL社が手がけたアートブック「STEIDL - WERK No.23: MASAHO ANOTANI "DEFORMED"」でフィーチャーされる。



©島袋里美



菅啓次郎 詩人、比較文学者

明治大学教授。『犬探し／犬のバビルス』(Tombac)をはじめ7冊の詩集を発表している。『斜線の旅』(インスクリプト)で読売文学賞受賞。パティ・スミス『MTレイン』(河出書房新社)ほか翻訳書多数。東日本大震災後、古川日出男、小島ケイタニーラ、柴田元幸とともに朗読劇「銀河鉄道の夜」を制作、各地で上演。今春、その最新ヴァージョン「コロナ時代の銀河」が、監督・河合宏音楽監督・川島寛人の映像作品として配信された。



小島ケイタニーラ シンガーソングライター/作家/翻訳家

「NHK みんなのうた」に書き下ろした楽曲「毛布の日」をはじめ、物語性のある歌詞が特徴。朗読劇「銀河鉄道の夜」をはじめ、音楽と朗読とのコラボレーション活動を積極的に行っているほか、2017年、18年に物語のフェスティバル「マンモススクール STORYTIME in NARA」のステージスーパースターにも務めた。最新の作品に、著書「こちら、苦手レスキューQQQ!」(絵・木下ようすけ)、ピアノ譜面集「花冠自乗」(詩・野村喜和夫、写真・朝岡英輔との共著)、訳書「中国・アメリカ 謎SF」(柴田元幸との共編訳、いずれも白水社)など。

辺口芳典 詩人/俳優/写真家

nobodyhurtsから「女男男女男女男女男女男女男女男女」を出版。ドイツ、デュッセルドルフのゲスト・アーティストとして選出され「ANTI FOTO」「Photo Battle」に参加。アメリカ、シアトルのChin Music Pressから「Lizard Telepathy Fox Telepathy」、edition.nordから写真集「mean」を刊行、翌年にブルノ国際グラフィック・ビエンナーレ入選。大阪此花区の六軒家川を写した「peels」(edition.nord)、Forget Publishingから「水の家」刊行。



竹中裕深 チェロ

大阪音楽大学器楽学科音楽専攻卒業。関西を中心にオーケストラや室内楽の演奏、大学での演奏員を務める傍ら、関西では珍しいブラジルアンデのユニットJazzのバンドメンバーとして各方面で演奏にも参加。2019年、自身の1stアルバム「AN ENCOUNTER」をリリース。

「銀河ノコモリウタ」クラウドファンディング関連イベント

11月3日 14:00 「音・声・ことば、新たなつながりを求めて」神戸市外国語大学

イーハトーブをここに—古から未来へのメッセージ 無料オンライン講座「顔なき声のうた—生命の響きに耳をすまして」
講演: kawole 聞き手: 難波仁美

11月23日 午前の部 こうべまちなかアート宮沢賢治朗読音楽会「銀河ノコモリウタ」

場所: ストリートテーブル(神戸市JR三宮駅前野外広場)

夜の部 "その耳、どこまでひらけるか。"クラウドファンディング・キックオフイベント

宮沢賢治朗読音楽会「銀河ノコモリウタ」場所: 旧グッゲンハイム邸

午前/夜どちらも出演: kawole、渡辺亮、IsaGuitarra、安野谷昌穂(予定)